

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課
記入団体名	NPO法人 武蔵観研

平成28年度

予算事業名	男女共同参画推進
-------	----------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	男女共同参画情報紙発行事業	
協働事業の概要	男女共同参画社会の形成を目指し社会的機運を醸成するため、男女共同参画に関する情報を幅広く提供し、意識改革への働きかけを積極的に行うことを目的とし、情報紙を発行する。	
協働事業の決算額	600,000 (委託額)	円 ※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成28年6月30日 ~ 平成29年3月31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた (5点) ・よくできた (4点) ・できた (3点)
・あまりできなかった (2点) ・全くできなかった (1点)

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	3	4	3.5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	3	4	3.5

合計点数	27.5点
------	-------



男女共同参画情報誌
「イープン」

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

- ・協働委託というのは、官民双方の意見交換が重要であり、受託者の会議や打ち合わせには積極的に参加し、信頼関係や共通理解を深めていくことが大切と思われます。
- ・男女共同参画以外の分野で活躍している団体であり、新たな視点で情報紙を発行することができたと思われるが、もう少し、男女共同参画の視点をもって、進めてもらいたいです。

【市民活動団体等】

男女共同参画情報紙は、啓蒙という意味合いがあるので、市民に読んでもらえるよう文字を大きくしたり、特殊性を抑えたりして、前年度より「やさしく、ためになる」をモットーに作成した。

協働事業では、役割分担に基づき情報紙を発行しているが、紙面をつくる割り振り段階での意思統一が特に必要であり、何をどう載せるか、短い時間の中での作業になるが、各編集委員の集中的な協力が不可欠と考える。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	0名	C
B	4名	
C	5名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

情報紙を自治会に送付するなど多くの市民の目に触れるようにした点は、事業の目的に沿った効果の高い取組であったと思います。しかしながら3月末までに45号が発行できなかったことは、事業が円滑に進まなかったのではという点が窺われます。

また、情報紙を定期的に年2回発行していますが、情報紙を発行することの目的が不明瞭になっているように思います。事業の目的に立ち返り、毎年の反省をふまえながら、男女共同参画の意向に沿った内容になるような工夫と団体独自の強みが表現され、読者に新たな知識の提供や発見を与えるような紙面となることを期待します。

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	平成28年度
記入団体名	川越市女性団体連絡協議会	

予算事業名	男女共同参画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	----------	--

協働事業名称	イーブンライフin川越	
協働事業の概要	○イーブンライフin川越の開催 1. 開催日 平成28年11月26日(土) 2. 会場 ウェスタ川越市民活動・生涯学習施設(活動室1、2) 3. 内容 講演 講師 春風亭 鹿の子氏(落語家) 演題 「私らしいワークライフバランス」 4. 来場者 134名	
協働事業の決算額	200,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成28年8月3日から11月30日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	①補助・助成 ②共催 ③協働委託 ④後援 ⑤情報交換・情報提供 ⑥実行委員会・協議会 ⑦事業協力 ⑧企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	5	4.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	31.5 点
------	--------



講演会の様子

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

今回は、講師が女性落語家であり、参加者の方々の関心も高かったように感じた。笑いの中にも学びがありとても温かい会場の雰囲気の良い企画だったと思う。受託者もそれぞれ責任を持って担当業務をこなし、市もできる支援をしていくという良好な関係で、更に信頼関係を築くことができた。

【市民活動団体等】

まず、昨年の反省を踏まえて取り組みました。協働事業としての役割分担・信頼関係もクリアできました。講師選びが一番頭を悩まします「この人」と思った講師が不発に終わったりする事もありました。今回は講師が各地でどのような講演会をしているか情報収集に努めました。これからも市民の皆さんまた、当協議会の為にも更に今年度の教訓を活かし来年度の事業の成功につなげて行きたい。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	2名	B
B	7名	
C	0名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

講師の女性落語家の講演は、芸を見せながらわかり易く男女共同参画の意義を話されており、参加者アンケートの結果も大変好評であったことから、十分な成果を上げた事業であったと評価できます。運営面についても行政と協力されており、協働事業としても大成功だったと思います。

今後は、講師謝金で予算の半分が使われてしまう事業の内容を工夫することが必要であると思います。また、男性の参加や若い世代の参加者を増やす試みを検討してほしいと思います。

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	平成28年度
記入団体名	川越市女性ネットワーク	

予算事業名	男女共同参画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	----------	--

協働事業名称	男女共同参画市民フォーラム	
協働事業の概要	<p>男女共同参画市民フォーラム：男女共同参画の様々な問題に対して、専門的な知識を持った講師による講演会(2時間程度)等を1回開催。男女共同参画社会の実現を図るため、男女共同参画の正しい理解を深めるとともに意識啓発を行う。「男女共同参画週間(6月23日～29日)」にちなみ実施する。</p> <p>開催日：7月9日(土) 13:30～16:30 会場：ウェスタ川越2階(市民活動・生涯学習施設) 講師：瀬地山 角(東京大学大学院総合文化研究科教授) 内容：笑って考えよう 家族・仕事・介護 参加者数：104人(男性 20人 女性 84人)</p>	
協働事業の決算額	93,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成28年7月11日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	4	5	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中前・中	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	5	4.5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	33.5 点
------	--------



「市民フォーラム」
会場の様子

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

- ・ 昨年同様、随意契約で実施団体を決定できたため、時間的な余裕があり、スムーズに事業を行うことができた。
- ・ 男女共同参画に関する講演会の客層は、ほとんど女性であるが、昨年から男性の参加者が以前と比べ多くなった。
- ・ 第五次川越市男女共同参画基本計画策定後、初めての市民フォーラムであり、講演内容の検討が重要であったが、前年度終了後直ちに講師選定を受託者が実施しており、時間的余裕がない中、時機に即した講演会であった。
- ・ 来年度市民フォーラム協働委託事業については、受託者から高齢化等のため辞退の申し出がある。男女共同参画課としては、「市民フォーラム」を新たな形として実施する予定である。

【市民活動団体等】

川越市女性ネットワーク内の個々のグループ活動の活性化に伴い、時間が割けない状況が続いていたが、講師選定を重点的に進めたため、今回の成果が出たと考えている。新たな「市民フォーラム」の実現を楽しみにしている。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	2名	B
B	6名	
C	1名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

講師の話が具体的でわかりやすいものでした。男女共同参画には具体的な話を盛り込むことが理解につながりますので、事業目的を達成するために的確な講師であったと思います。

今後の課題としては、60歳以上の女性の参加者が大半を占めているので、若い世代や男性の参加者を増やす試みを検討してほしいと思います。また、毎回講演会が中心で予算の半分以上が講師謝金という事業の見直しも検討が必要かと思えます。

協働事業評価シート

部課名	こども未来部こども政策課	平成28年度
記入団体名	NPO法人川越子育てネットワーク	

予算事業名	子ども・子育て支援新制度	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	--------------	--

協働事業名称	子育て情報誌作成	
協働事業の概要	子育て中の方やこれから子育てする方が安心して子育てができるよう、行政の制度、各種相談窓口、出産・子育てに関する情報などを紹介するための情報誌を作成する。	
協働事業の決算額	118,800 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成28年 6月17日 ~ 平成29年 3月31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34 点
------	------



子育て情報誌
「こえどちゃん」

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

当事業は今回で15版目となる子育て情報誌の作成を行うもので、子育て当事者と行政双方の視点から子育て情報を掲載し、市内の未就学児のいる世帯へ冊子を配布することで、子育てを支援するものである。

平成27年度版からは、編集印刷等を担当する民間事業者と協定を締結し、三者での事業実施となった。また、今年度は更に500部増刷し、より多くの市民の方の手に届くよう、児童館等に加え、各公民館へも当情報誌を設置することとした。

掲載内容については、市民活動団体の意見等を取り入れることで、ニーズに合った情報を掲載し、前例踏襲ではない事業の実施ができています。

一方、編集作業を外で行うことから、原稿作成の時間が十分に確保できないという懸案事項もある。今回の実績を踏まえ、円滑に事務が進められるようスケジュールの見直しが必要である。

【市民活動団体等】

昨年度同様、企業+行政+NPO法人の三者での制作で、我々NPO団体としては、妊娠中・子育て中の母親、父親にお伝えしたいリアルな体験記事の制作と、温かみのある風合いにこだわった、全国的にも珍しい情報誌が作成できたのではないかと思います。

全ページフルカラーで見やすく、且つ発行部数20,000部は未就学児のいる全世帯に配布できる数で、多くの人へ情報が届けられるのは大変嬉しいことである。

4月から事業が開始出来れば、もう少し余裕を持って取り組めるので、契約時期を早めていただけるとありがたい。

今年度は、市内の子育て事情についてアンケート調査（計313名分）を実施し、困ったときに預けられる人はいるか、祖父母・父親に預けてよかったことや困ったこと、川越の子育てでいいと思うところ・こうしてほしいと思うところなど、リアルな声とニーズを掲載することができた。これも、担当課や、アンケート実施に賛同いただいた各支援施設などのご協力あってこそ実現できたことである。今後もさらにニーズを把握しながら、もっと読み易く、子育ての役に立つ情報誌となるよう協議していきたい。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			評価結果
A	9名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B	0名	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0名	当該事業を協働事業として実施するには課題がある。事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

行政、企業、NPOが連携する協働事業の理想的なケースです。業者委託記事のみで発行されている市町村が多い中、川越独自の子育て情報誌になっていることは高く評価できます。また、読者のニーズや生の声を把握するために、行政の協力を得てアンケート調査を実施し、より良い紙面づくりを志向している点が素晴らしいと思います。

今後は、団体の希望通り早い段階の事業開始が出来るようになればいいと思います。

協働事業評価シート

部課名	環境政策課
記入団体名	南小畔親水クラブ

平成28年度

予算事業名	環境基本計画
-------	--------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	かわごえエコツアー	
協働事業の概要	<p>市内の環境保全の取組現場や雑木林・緑地等の自然環境スポットを見学し、参加した市民等の環境意識の啓発と高揚を図ることを目的として実施するものです。</p> <p>実施日：平成28年10月31日（月）</p> <p>行程：川越駅西口⇒河南親水公園⇒霞ヶ関カンツリー倶楽部⇒小畔水鳥の郷公園⇒小畔川⇒国指定史跡河越館跡史跡公園⇒赤間川⇒伊佐沼⇒川越運動公園⇒あくれっしゅ川越⇒田谷堰⇒北公民館⇒川越駅西口</p> <p>参加者：28名</p>	
協働事業の決算額	93,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成28年6月23日 ～ 平成28年12月22日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34.5 点
------	--------



南小群川や河南親水公園を見学する様子

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

協働事業は、それぞれの団体（民間・行政）が持っている利点や得意分野を活かした事業ができる制度であると考えております。

今回のエコツアーに関しましては、団体側が有している環境に関する知識やネットワーク、行政が有している広報力や市民からの認知度を一体化することによって、より高い次元での事業が実施できたものと考えております。

企画内容は、バランスよくバラエティに富んだ内容となっており、参加者からの感想をみても、質の高いよい事業が実施できたものと考えております。

【市民活動団体等】

市内4箇所の環境施設を見学し、いずれも講師の方が熱心に説明してくださいました。参加者にも比較的好評でしたが、北公民館でのまとめの時間では、バスの乗り降りが多く、足の悪い方への配慮が少し足りないのではといったご意見もあり、今後は見学場所を絞る必要があると考えます。ツアーを実施して、「よかった」で終わらせず、今回勉強したことを実践につなげていきたい。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	6名	A
B	3名	
C	0名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

協働事業の目的が十二分に発揮されていた事業です。川越の環境や環境保護対策に関する学習の機会を提供している点が評価できます。毎回場所や方法による目標を設定して実施し、その成果を記録していることも良い点だと思います。特に、現状に満足せず、更なる改善を図ろうとする団体側の姿勢についても好感が持てます。

今後は、川越の川に対する理解や知識を広げるような講座等に結び付けることができればさらに良い事業になると思います。今回はゴルフ場の都合もありましたが、子どもたちも参加できるような日程を望みます。また、高齢者や足の悪い方への配慮が欠けてしまった点があったと思いますので、次回以降は配慮をお願いします。